

**Amir Tsarfati 中東情勢アップデート 2018年 2月 1日公開**

.....

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。フィリピン、アメリカから戻り、現在、ガリラヤの自宅です。予定の時間ではないのですが、二週間留守にしている間に、仕事が山積みになっているので、先に録画して、後でご覧いただければと思います。後ほどユーチューブとフェイスブックに投稿します。

ということで、ガリラヤより、シャローム。アミールです。世界の、目覚めている地域の方々がご覧になっていますね。ニュージーランド、オーストラリア、東南アジア、ヨーロッパ…本題に入る前に、いくつかの問題についてお伝えしたいと思います。一つ目は、私の動画について多くの方からご連絡をいただいています。というのも、内容とは全く違う日付で、私の動画が出回っているのです。Behold Israelのチャンネルをご登録いただければ、私の動画は全て正しい日付、正しい内容でご覧いただけますが、問題は、私の動画を再投稿した“釣り”が多く出回っているのです。私の動画を、現在の日付に変えて再投稿してあるので、それを見た人が、最新の動画だと思って視聴すると、実際は半年前のものだったり、8ヶ月前のものだったり、10ヶ月前のものだったりして、人々を混乱させています。それだけではなく、Adrian Leeのような人間は、広告を載せていて、皆さんがそれをクリックする度に、彼らにお金が入るのです。簡単に言えば、皆さんがBehold Israel以外のチャンネルでそういった動画をご覧になると、ただ他の誰かの懐を助けるだけで、それ以外の何物でもありません。とても残念なことです。何というか…泣きたくくなりますね。彼にとっては、メッセージの内容など、どうでも良いのです。ただ、クリックしてもらえばそれで良いのです。彼のユーチューブチャンネルを、私だと思って、15,000人近くの人がフォローしているのです。しかし、正しい日付、正しい内容のメッセージを配信しているのは、Behold Israel/ビホールド・イスラエルだけです。そこで私の正しい日付、正しい内容でご覧いただけます。もう一度言います。Adrian Leeという男、他にも何人かいますが、彼は最大の問題です。どうか皆さん、彼のチャンネル登録を解除して、Behold Israel をチャンネル登録してください。

続きは、祈ってから始めますが、今日はいくつかのトピックがあります。その一つは、一昨日行われたドナルド・トランプの教書演説について、その中で彼が語った、中東とイスラエルに関することを見ていきます。それから、数日前に行われたベニヤミン・ネタニヤフの、ロシアの大統領プーチンとの会談についてお話します。それから、今後レバノンから向けられる、ヒズボラとのあらゆる闘争に対して、イスラエル防衛大臣がレバノンに送った脅しについて。それから、イランの町中で再発している暴動について。メディアは報道していませんが、昨日イランの町中で市民暴動が全力で戻ってきました。それについてもお話します。その前に、お祈りしましょう。

お父様、あなたに感謝します。あなたは、確かに初めから終わりのことを告げられました。あなたの望むことをすべて成し遂げる、と預言者イザヤを通して、あなたが私たちに知らせてくださり、感謝します。現在、世界中で起こっていることを、私たちが理解できるように助けてください。現在起こっている状況だけでなく、それがあなたの御言葉、あなたの子どもたちに対するご計画とどう繋がるのかも理

解できますように。私たちのためにあなたが備えてくださっている、あなたのご計画を、私たちがよく理解できますように。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

ということで、ガリラヤよりシャローム。アミールです。予定していた時間ではないのですが、色々な訳があって、今行なっています。理由の一つは、私が留守にしている間に、仕事が山積みになっていて、今日それを片づけなければならないため、そちらを優先させるために、アップデートを今から行います。今、ライブを見られない方は、後ほどご覧いただければと思います。

まず初めにお話しするのは、ベニヤミン・ネタニヤフ首相の、ソチで行われたロシア大統領との会談です。つまり、ヴラディミール・プーチンがシリアの状況に関して、平和集会のようなものをソチで招集したのです。面白いのは、シリアの状況は良いものではなく、ロシアはそれを理解しています。実際、シリアに関して何も合意されず、シリアの大統領は招待されていません。ロシアの大統領が求めていたこと、少なくとも必要としていたことの一つは、イスラエルの計画を理解することでした。ネタニヤフ首相は、この当事者だけの会談の中で、

「イスラエルは、イランがシリアでも、レバノンでも定着することを容認しない」

と実に明確に告げました。シリアについては、すでにお話しした通り、私たちにとっては何も問題ありません。今のところ私たちがほぼ月一回攻撃しているのは、何らかのイランの存在で、——イラン軍やイラン兵、またはレバノンに向かう途中でシリアを通過中のイランのミサイルです。この5年間に、100回以上の出撃がありました。問題は、シリアが、イランがこれらのことを行う活動の場になっている間に、イランはその代理ヒズボラを使って、レバノン国内に非常に精密な武器を造る工場を建設しているのです。ここで、精密な武器と通常ミサイルの違いをご説明しますと、——通常ミサイルは、場所に命中させることは出来ないのです。それが落下するのがある範囲があって、そこまで精密ではありません。ですから、そこまで危険ではありません。私たちはそれを空中で迎撃することもできますし、また、標的の上でなく、標的から遠く離れたところに落下するように祈ります。しかし、精密な武器というのは、標的から何百メートルという範囲ではなく、数センチ、数インチ単位で命中させるのです。ですから、これは致命的で、いったん送られるとミスする余地もなく、標的に命中します。(戦闘機の音)ところで、今聞こえているのはF-16ですよ。私の住んでいるところの真横を飛んでいます。私はこれを狙ったわけではありませんが、現在訓練中です。今こちらは朝ですから、これは通常の演習です。ともかく、今のところ運ばれているこれらのミサイルは、精密なものではなくて、イランがこれらのロケットを精密なものに変える施設をレバノンに建設中ということに、イスラエルは気づいたのです。イスラエルはこれを容認することは出来ませんし、容認しません。これが原因の一つとなって、イスラエルの防衛大臣は昨日、公にレバノンに告げました。

「この先の戦いで、もしテルアビブの住民が防空壕に隠れなければならないなら、ベイルートの住民も防空壕に隠れることになるだろう。」

つまり、レバノンに対してははっきりと告げたのです。

「ヒズボラが行なったことは、何であれレバノン政府に責任を取らせる。ヒズボラだけでなく、レバノンが公式に攻撃したものとして、我々は攻撃する。」

自分たちはやっていないフリをして、誰かに代わりにやらせるのも、もはやこれまでだ、と。ヒズボラが政府の実行役、軍の実行役を行なっただけで、ヒズボラが攻撃するときは、レバノンが攻撃しているも同様です。もしレバノンがわれわれを攻撃するなら、レバノン人も、イスラエル人と同じだけ防空壕で過ごすのです。ここで、本当にそれが起こると思うか？と私に聞かれるなら、私はそうは思いません。聖書によれば、次の攻撃はイラン、トルコ、ロシア、リビア、スーダンの組み合わせだと、私は信じています。しかし、大物が来る前に、もしかしたら小さな対立が起こるかもしれません。ガザで、イスラエル対パレスチナか、もしくは北部の前線でイスラエル対レバノンか。それらは全てイスラエルに恥をかかせ、イスラエルを弱体化させるのが目的で、我々のそちらにかかっている間に、イランが他の所へ移動できますから。また、これはとても珍しいことで、イスラエル軍のスポークスマンがアラブ語で、

「イスラエルは、イランがレバノン人を人質にしているのを見ている。」

とレバノンの人たちに伝えました。つまり我々イスラエルは、レバノンの人たちに伝えているのです。

「注意しなさい。あなた方の国は、イランによって占領されています。イランとの対立が起こった時には、レバノンも巻き込まれるだろう。イランの代理が、レバノン側から我々を攻撃しているからだ。」このように、あらゆる選択肢が上がっています。しかし、イスラエル軍 IDF のスポークスマンがレバノンの人たちにこのような言葉で直接語りかけるのを、私は初めて聞きました。イスラエル防衛大臣が、今後の彼らの側からの攻撃の結果起こる対立に関して、レバノン人に向かって、こんな直接的な言葉で語りかけたことは、これまで一度もなかったと思います。とても興味深いです。これを用いて、イランの詐欺師たちが、イランで実際に起こっている事から人々の目を逸らそうとしているのかも知れません。それについては、後ほどお話しします。

もう一つお話ししたいのが、ドナルド・トランプ大統領による教書演説です。大統領としての一年を終えた後、初めての教書演説です。彼は、イランとハマスの両方と、それから広くパレスチナ人に対して、実に明確に伝えました。彼の中では、エルサレムはイスラエルの首都であり、交渉の余地はない。これで、パレスチナが何故激怒しているのかわかるでしょう。パレスチナは、この地域に関する今後のアメリカの計画の詳細を、サウジから聞かされました。彼らはそれを読んで衝撃を受けました。アメリカは、パレスチナにエルサレム旧市街も、神殿の丘も、旧市街の周辺も、欠片たりとも差し出すつもりはありません。サウジに支持されているアメリカの計画が、パレスチナに提案しているのは、遠く離れた場所、アブディスという別の町です。だからパレスチナは「もうたくさんだ！」と言い、もはやアメリカを正直な平和仲介人とは見なさない、と言っているのです。また、興味深いのが、同時に、パレスチナの保護者であるはずのヨルダンの王が——パレスチナに失望しているエジプト人や、サウジのことは忘れてください——ヨルダンの王です。ちなみに、彼の王国の70%はパレスチナ人ですよ。その彼がこう言いました。

「パレスチナとイスラエルの間を、公平に交渉できるのはアメリカの他にはない。」

つまり、エルサレムがイスラエルの首都であると認識した、ドナルド・トランプ大統領の実に大胆な動きは、ただ反対され、スンニ派穏健派界とアメリカとの関係を、完全に破壊しただけでなく、スンニ派穏健派界がアメリカ側につくきっかけとなり、パレスチナを然るべき立場に置いたのです。

「今は、あなたの意向を聞いている場合ではないのだ。これがアメリカの決断で、これを彼らが行うな

ら、我々には、イランのようなさらに大きな問題があるのだから、それを受け入れなければならないのだ。」

ですから、トランプ大統領の「エルサレムがイスラエルの首都である」という宣言は、これ以上に良いタイミングはなかったのです。基本的に、彼は偽善を暴露したのです。

それから、もう一つ言っておきますと、アメリカは UNRWA（国連パレスチナ難民救済事業機関）への予算を削減する、と決定しただけでなく、——これはパレスチナ人のためだけに設けられたものです。国連の特別援助が、特定の一人の人たちだけに設けられた機関など、これまでの歴史上、一つもありません。国連難民高等弁務は、パレスチナは担当していません。パレスチナ人たちはまた、実におかしな地位を与えられているのです。難民として生まれ、難民として死に、子孫もその地位を受け継げるのは、彼らだけです。通常、難民は一代だけで終わりです。難民として生まれることは出来ません。生きていけば、難民になる事はあっても、死んでしまえばそれまでです。難民は死亡し、残りの家族に難民としての地位はありません。“難民”という特別な地位に加わるのは、この人たちだけです。難民という立場を相続する。文字通り、死んだ親から相続するのです。そんなものは世界中のどこにもありません。それを彼らは利用しているのです。このために、難民の数が減らず、パレスチナ難民はどんどん増えています。ただ難民として登録すれば良い、ということに多くの人が気付いたのです。事実、この全行程の当初は、仕事をして働いても、国連が難民に与える金額よりも少ないために、レバノンやシリアでもおびただしい数の人が登録したのです。彼らは難民でもないのに、難民として登録したのです。そっちの方がよっぽど儲かるからです。だから難民の数がどんどん、どんどん増えているのです。仕事へ行って働いて、普通の生活を送る代わりに彼らがしているのは、ただ国連のお金に頼るだけ、それは主にアメリカから拠出されているお金です。そして現在、トランプ大統領のもう一つの大胆な動きは、

「もはやこれまでだ！何もしないで、特別な地位に甘んじている人間にお金は出さない。」

と言ったのです。何もする必要がないのですから。それだけでなく、アメリカはアメリカの敵ではなく、アメリカの友を支援すべきだ、と。皆さんに言っておきますが、ベツレヘムでパレスチナ人たちが、ドナルド・トランプとマイク・ペンスの大きな人形をクレーンで吊り下げて皆の前で燃やし、「アメリカに死を！」と叫んでいたのです。ベツレヘムで、ですよ。西岸地区です。ハマスでもガザでもなく、西岸地区。パレスチナ高官が、トランプとペンスの大きな人形が日中公衆の面前で燃やされるのを許したのです。彼らは、食料を与えてくれる者の手を噛んでいるのです。だから、

「もうたくさんだ！我々に敬意を示せないなら、我々からの支援は一切受けることは出来ない！」

とトランプは言ったのです。このように、この大統領によって、次々と大胆な事が実に前代未聞の形で行われています。これまでに設けられた全ての規則、そのために造られ、野放しにされてきたポリティカルコレクトネスの環境は、今や粉々に砕け散りました。そして、パレスチナたちは選択を迫られているのです。自分たちは平和に向けて前進するべきなのか？平和のために努力して、普通の生活をして生きていくべきなのか？それとも、この対立をあと100年続けるのか？もしそうであるなら、我々はあらゆる計画、あらゆる提案、あらゆる協議に反対しなければならない。そして、イランやトルコといった、イスラエルの敵と手を組もう。これがまさに、彼らがやっている事そのものです。彼らは、イラン、トルコの胸に飛び込んで、そしてヨーロッパとロシアを平和交渉人として見ているのです。非常に興味深いですね。

ある人から来たメールでの質問ですが

「クリスチャンの親友が、ドナルド・トランプは反キリストだと言うのですが、私は何と云えば良いでしょう？」

まず第一に、私は指導者たちを「反キリストの可能性がある」と名指しするようなことはしません。それは、賢いことではないと思いますから。「反キリストが誰であるか、私たちは知っておくべきである」とは聖書には書いてありませんからね。また、私たちクリスチャンは、反キリストを見ない、と私は信じていますから。これは、第二テサロニケの私の個人的な解釈ですが、「引き止める者」(2:6 参照)というのは、我々の中に宿る聖霊だと私は信じていますが、それが取り除かれたら、彼が世界的指導者として正体を現すのだと思っています。しかしそれを除いても、反キリストというのは、世界統一政府の動き、グローバル化の動きの産物であることを忘れてはいけません。そして何より、トランプは大事故であり、彼らにとって問題であって、彼らの仲間ではありません。明確にしておけば、彼の大胆な行動、イスラエルに対する好意からも、彼が反キリストになる事はありません。むしろ、地域の緊張を高め、エゼキエル戦争とイザヤ 17 章へと促しています。携挙が起こり、アメリカはもはや大国ではなくなった時、その時に和平案がもたらされるのだ、と私は信じています。そして、前にも言いましたが、その時にヨーロッパの指導者が登場して、その人(が反キリスト)だと、私は信じています。それは誰か？私には分かりません。何人か候補は挙がっていますが、私は誰のことも名指ししません。私にも、パターンは見えていますよ。以前のメッセージで、そのパターンはお話しています。ヨーロッパのメシアが出て来て、人々を窮地から救い出す、とか、指導者の年齢がどんどん若くなってきている事、どんどん経験が浅くなっているし、もちろん、子どもを持っていませんヨーロッパはただの一国ではなく、全大陸または全帝国をだれに託すのか、いずれ選ばなければなりません。非常に興味深いことになると思います。

ということで、トランプの一般教書演説についてお話ししました。我々の敵でなく、友を支援しよう、それからエルサレムをイスラエルの首都と呼び、我々の決断を後ろ盾にしよう、と。それから、イスラエル首相のプーチンとの会談についてもお話ししました。イスラエル防衛大臣の、レバノンとヒズボラ、それと精密な武器に関する発言についてもお話ししました。

今回、最後にお伝えしたいのは、イランで起こっていることです。覚えていてください。イランのような国の内側で、何かが起こっている時、彼らは二つのことを狙っています。一つは政権の維持、もう一つは彼らの国で起こっていることから目を逸らすことです。そこで起こっていることから目を逸らすには、他のところで闘争が起こっている方が、都合が良いのです。そして、自分たちの政権を維持するためには、イスラエル攻撃の計画を推し進めるのが、都合が良いことなのです。ですから、私が、イラン国内で起こっていることを見ると、まず第一に、イラン国民は、自分たちの政府の後ろ盾とはなっていないのが分かります。現在起こっているデモを見てもそうです。一か月前に起こった事を見れば、8,000人以上のデモ隊が逮捕されました。未だに逮捕されている人もいれば、ある人たちは消え、ある人たちは刑務所で死亡しました。これら全てのことにも関わらず、彼らはまた表に出て来たのです。それを見れば、彼らの苦しみや不満は、恐れよりも大きいのが分かります。彼らは犠牲を払っていて、これは政

権にとっては非常に悪い知らせです。昨夜、人口 150 万人以上のシーラーズという町で大きなデモがあり、人々はハメネイに対して

「独裁者に死を！」

と唱え、それから大統領には

「ロウハニーに死を！」

と唱えました。こちらは、ペルシャ湾にあるバンダレ・アッバースという町です。彼らは、どこかのスンニ派の人たちで、政権はこれを非常に危険なデモである、と見ています。スンニ派とシーア派の内紛で、イランもシリアで起こったのと同様に、市民戦争になりかねないからです。それから我々が「勇敢な女性」と呼ぶ、女性のデモ隊も増えています。ブルカを脱いだ女性たち、彼女たちは、その報いを受けることを知っています。一ヶ月前、頭の覆いを脱いだ女性は——約一ヶ月姿を消していましたが、——国連安保理、ロシア、中国、フランス、イギリスの圧力がなければ、彼女が解放されることはありませんでした。とても興味深いのが、あらゆる人権に反する事が行なわれているのに、国連の人権保護委員は何も言いません。彼らは、イランについても何も言いませんし、何が起きているかも一切話しません。ここで考えなければならないのは、なぜイラン人たちは、通りに出てデモを行なっているのでしょうか？私たちが忘れてはならないのは、現在の最大の問題の一つ、最大の問題は国家の経済崩壊です。彼らは何年も前に、核協議のようなものを約束されました。そうなれば、彼らの生活が大きく向上します。だから彼らは“穏健派”に投票したのです。“穏健派”——これは彼らが、世に信じ込ませようとしていることです。ロウハニーのような指導者です。オバマは、彼のことを聖人に仕立て上げました。そして、基本的には彼は、ベン・ローズ（書記注：オバマ前大統領副補佐官、イランに対する行動についての包括的共同作業計画顧問～Wikipedia より）のような顧問を送り、アメリカの広報に「反響室」と呼ばれるものを作りました。そして彼は、非常に穏健派の政権である、とアメリカに伝えたのです。しかし、何も起こりませんでした。それどころか、人口 8,200 万人の国の、一人あたりの GDP（国民総生産）は 5,800 ドル、これは非常に低いのです（書記注：ちなみに、日本の一人あたりの GDP は 2016 年で 37,8917 ドル、世界 22 位）。それから、一旦制裁が解除されるなり流れ込んだ全てのお金は、国民の生活の保護のためではなく、テロ資金へと使われたのです。それは彼らも分かっています。多くの人が憤っているのは、お金の事だけでなく、自分たちへの待遇に対しても、です。デモ隊が、バシージの警察署に放火したことも分かっています。バシージは通常、秘密警察が人々を拷問している場所です。それから、Melli Iran 銀行の崩壊、ここはイラン最大の政府公式銀行で、そこで詐欺があり、元 CEO の Rezae Khaavari には、懲役 20 年と何百万ドルもの罰金が求刑されています。しかし、彼は既にそこにはおらず、カナダに逃亡しています。両国に引き渡し合意はありませんから、カナダは引き渡しを拒否しています。彼は 2005 年にカナダ国籍を取っています。恐らく 26 億ドル近くを盗んでおり、これは銀行での窃盗ではイラン史上最大です。彼は 2011 年にイランから逃亡していて、そしてこの銀行が崩壊しそうだとの噂が出ています。イランの組織が激しく崩壊しており、人々が物凄く飢えているのです。怒っているだけでなく、飢えてもいるのです。そして、前大統領のアフマディネジャドも背後で大きく関わっています。彼は、皆に伝えようとしています。協議は機能していない、穏健派では報われない。我々は表に出て、政府を変えなければならぬ！そして、もっと厳しい政府を求めろのだ！と。今は誰もが、協議を維持できるように、トランプ大統領が協議を完全に取り消すところまで行かないようにしましょう、と頑張っています。もし、完全に取り消されれば、イラン政権にとっては大打撃ですから。そして大まかに言えば、そ

れによって、彼らがロシアやヨーロッパと結んだ協議や関係の全てが取り去られようとしていて、これが大問題なのです。私は、デモ隊たちはまた、トランプ大統領の言葉を待っているのだと思います。トランプには、2009年のオバマのように彼らを見捨てないで欲しい、と彼らは願っています。そしてトランプが、その協議をもって2018年の世の方向を決める、と彼らは信じています。我々は、トランプがそれを取り消すと考えていますし、それは誰もが感じていることでしょう。だからイラン政権は、物凄く困っているのです。だから彼らは、自分たちがシリアで戦っているイメージを弱めるよう命令したのです。シリアからはるばるイランまで運ばれてくる棺桶の図は、彼らにとって都合が悪いからです。だから、イラクとシリア、両方共で、全てがシーア派とスンニ派との戦いであるかのように、映像が変えられたのです。テヘランから、はるかラタキアか、バイルートの間には沿線があって、数か月前までは、それは起こらない、と誰もが信じていました。

それからもう一つの衝突があって、それは、現在のイランとトルコとの衝突です。彼らが、自分たちには共通の敵がいる、と気づけば、彼らはそれを克服することが、我々には分かっています。その敵とはもちろん、イスラエルです。

ということで、我々には、イランで問題があり、シリアでも問題があり、トルコはクルド人のことで、彼ら自身の問題があります。それから、ヨーロッパは混乱しています。ヨーロッパで、反ユダヤのイベントが多数起こっています。特にフランスでは、フランス人たちが実際大変な事になっています。あちらで、刑務所の警備員たちがストライキ中です。刑務所で働いている警察や機動隊の多くが、基本的には政府による彼らの扱いに対して、デモをしているのです。物凄い過激派の囚人たちが、彼らを殺している事、それに対して、フランス政府がこれを止めるために何もしていないという事に、彼らは気づいたのです。

中東の緊張が、確かに高まっているのが分かります。興味深いことに、イスラエルの軍隊が2018年の予測を発表しました。彼らが言うには、2018年、中東でイスラエルを巻き込む軍事的紛争が起こる可能性は、これまでよりもずっと高い、とのこと。ですから、これら全てのことから私に言えるのは、自分の周囲を見渡すと、至るところから脅威が向かって来るのが見えます。私は恐れないだけでなく、自分の頭を上げ、天を見ます。私にとっては、私の贖いが確実に、物凄く近づいていますから。

以上です。非常に短いアップデートでした。いろいろな事が起こっています。まだまだ起こっていることに関して、これからもまたアップデートしていきます。私は、恐らく、…意図的に、昨夜の巨大ブルー・ブラッドムーンに関しては話しません。そういったことに、私は興味がありませんから。前にも言ったと思いますが、多くの人がこういったことに注目していますが、黙示録によると、大患難が始まれば、物凄く巨大なブラッドムーンが起こるのが分かっています。しかしその時、私はここにいてそれを見ることはありません。また、私はそれを見るためにここにいたいと思いませんし、そのためにここにいてもありません。私たちは、周りを見回して、常にこういった天のしるしを見つけるのではなく、現在起こっていることを見るべきだと思います。私にとっては、私たちが現在生きている、時と季節を理解する事が大切で、こういった類のことだけに目を向けません。常に月や星にばかり目を向けているのは、非常に危険です。私たちの周囲には、私たちに警告を与えているものが十分存在します。もちろん、オリーブ山の垂訓も、他の預言も、大患難以外にも天にしるしが現れることは、ヨエルは実に

明確に告げていますし、黙示録も実に明確に告げています。だから当然、私も、黙示録の実際の大患難の時以外でも、それらが起こると信じています。しかしこれらは、私たちが関わるものではありません。私たちは、自分たちの周囲で起こっている事に目を向け、主が戻って来られるのに備えるのです。私たちは、世界が理解するために至る所で福音を宣べ伝えるのです。私たちに義務付けられている、城壁の見張り人としての役目を果たすのです。これから起ころうとしていることを、世に知らせるのです。そして、彼らも信じなければならないことを、世に伝えるのです。

以上です。現在、これらのことが起こっています。私は、誰のことも非難するつもりはありません。もしあなたが、こういった天のしるしを重要視しているなら、それはあなたの問題です。ただ、私の関心ではありません。

ありがとうございました。それから、私がフィリピンとアメリカにいる間に、お祈りいただいてありがとうございます。ミニストリーツアーは、大成功でした。フィリピンの南部と、マニラの主要圏を訪れただけでなく、カリフォルニアのチノヒルズでも大成功に終わりました。日曜日の朝は、私たちが知るべき事、現在、我々がどの位置にいるかを示すものについて話をし、日曜夜は、世界のクリスチャンにとって、なぜイスラエルが重要なのか、なぜエルサレムが重要なのかについてお話しました。どうか、これらの動画をご覧ください。フェイスブックに投稿してあります。皆さんもこれらの出来事から、多くの理解と知識を得られると思います。

ありがとうございます。ガリラヤより、God bless you!

シャローム、シャローム！

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>